

※本文内の（ ）内の数値は志願者数の前年度確定数との対比指数を表します。

◎ 志願者数が多かった大学

□ 志願者数最多は、3年連続で大阪公立大

〔志願者数上位 10 大学〕

大学	2024年度			2023年度			志願者 増減数	志願者指数	
	募集人員	志願者数	志願倍率	募集人員	志願者数	志願倍率		2024年度 ／ 2023年度	2023年度 ／ 2022年度
大阪公立大	2,447	14,323	5.9	2,447	14,152	5.8	+171	101	107
千葉大	2,069	10,803	5.2	2,069	10,507	5.1	+296	103	99
神戸大	2,301	10,156	4.4	2,301	9,905	4.3	+251	103	98
北海道大	2,432	9,482	3.9	2,381	9,808	4.1	-326	97	103
東京大	2,960	9,432	3.2	2,960	9,306	3.1	+126	101	98
横浜国立大	1,346	8,597	6.4	1,347	9,471	7.0	-874	91	130
京都大	2,643	8,206	3.1	2,642	7,827	3.0	+379	105	103
九州大	2,238	7,540	3.4	2,238	7,285	3.3	+255	104	95
大阪大	2,874	7,196	2.5	2,878	7,398	2.6	-202	97	99
兵庫県立大	925	6,562	7.1	925	6,293	6.8	+269	104	111

※志願者指数は前年度の志願者数を100とする指数

上の表は、文部科学省発表の最終確定値、大学全体の志願者数が多かった国公立大の上位 10 大学をまとめたものです。志願者数が 7,000 人以上だった大学は 9 大学で、前年度と同数でした。前年度は 10 大学中 5 大学ずつ増加と減少に分かれたのに対し、今年度は増加が 7 大学でした。10 大学の中で、第 5 位の東京大、第 9 位の大阪大はいずれも前期のみの募集です。第 7 位の京都大の後期は、特色入試として実施の法学部のみの募集です。

2024 年度入試で志願者数が最も多かったのは、3年連続で大阪公立大(101)で、2年連続して 1 万 4 千人を上回りました。

第 2 位の千葉大(103)は、296 人(103)のやや増加で、2010 年度から 15 年連続で志願者数が 1 万人を上回りました。

第 3 位の神戸大(103)は、251 人(103)のやや増加で、志願者数は 2 年ぶりに 1 万人を上回りました。

第 4 位の北海道大(97)は、前期は 88 人(98)で 2 年連続微減で、後期は 2 年連続増加の反動は小さく 238 人(95)のやや減少となりました。

第 5 位の東京大(101)は、文科類は 40 人(99)の微減で 2 年連続減少でしたが、理科類は 166 人(103)のやや増加で、大学全体としては微増となりました。

第 6 位の横浜国立大(91)は、2021 年度にコロナ禍対策として個別試験を中止した影響で、志願者数は 4,189 人と 2020 年度と比較して半減近くになりましたが、2022 年度から元の個別試験を実施したことで反動増が見られ、前年度も大幅増加しました。2 年連続大幅増加の反動で減少となりました。

第 7 位、第 8 位の京都大(105)、九州大(104)は難関大志向の高まりと、共通テスト平均点アップにより予定通りの出願を行えた受験生も多く、堅調な出願状況でした。

第 9 位の大阪大(97)は好調な京都大(105)と神戸大(103)への流出が影響しやや減少しました。

第 10 位の兵庫県立大(104)は、前期と後期は微増でしたが、中期が 234 人(109)の増加で、大学全体としてはやや増加でした。